

第51期 報告書

2012年4月1日 ~ 2013年3月31日

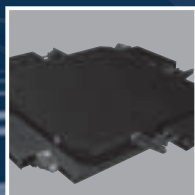
HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。

ヒーハイト精工株式会社

証券コード：6433

当社は、1962年（昭和37年）の創業以来、リニアモーションベアリングの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアベアリングなどの直動機器事業、精密部品加工事業及びポジショニングステージなどのユニット製品事業の3つの事業領域で企業価値の拡大を目指して参ります。



直動機器事業

円筒直動軸受製品
直動軸受応用製品
球面軸受等

精密部品加工事業

エンジン部品加工
精密部品の受託加工等

ユニット製品事業

XYθステージ
Zチルトステージ
XYθZステージ
多軸ステージ
その他システム製品

目次

事業概要	1	株式の状況	6
株主・投資家の皆様へ	2	会社の概要	6
連結財務諸表（要旨）	3	第51期定時株主総会に関するご報告	・・・
TOPICS	5	株主メモ	・・・



第52期経営方針

『次善を求めて最善を尽くす』

変革期こそ、経営や業務の「不易と流行」を再確認する絶好のチャンス

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第51期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米国が緩やかな景気回復へと向かう反面、欧州の財政不安、中東の政治不安などで経済活動の低迷が長期化し、総じて厳しい状況で推移いたしました。わが国経済におきましては、東日本大震災からの震災復興需要により緩やかな回復が見られ、昨年後半から、為替が円安に向かい、また、国内株式市場の持ち直しがあったものの、長引く欧州債務危機や中国をはじめとする新興国経済の減速などの影響もあり、依然先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、中国への本格的な販売を開始し、アジア展開への第一歩を踏み出しました。また、主力製品のラインアップ拡充と拡販に、営業・技術・製造の三位一体体制で今やるべきことに最善を尽くし、販売展開及び生産性の向上に努めて参りました。

しかしながら、国内メーカーの経営環境悪化に伴い受注が伸びず、当連結会計年度の業績は、売上高につきましては1,304,556千円となりました。また、損益面につきましては、顧客対応のための製品開発案件の前倒しの実行等による費用増加により経常損失45,028千円となり、当期純損失は38,144千円となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、国内需要の不振に加え、海外経済の減速を受け産業用機械業界等からの受注が減少し、当連結会計年度の売上高は1,073,805千円となりました。

精密部品加工につきましては、レース用エンジン部品及び一般受託加工の受注微増により、売上高は140,271千円とな

りました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界及びスマートフォン等の液晶製造装置の販売をすすめるも、目標に届かず、売上高は90,479千円となりました。

次期の見通しにつきましては、欧州債務危機を背景とした中国経済の減速や、世界経済の停滞を受け、依然として不透明な状況にあります。また、生産の海外移転の流れがすすみ、国内設備投資に関しては厳しい環境が予想されます。このような経済環境の下で、中国子会社の販路拡大及び、中国蘇州工場でのノックダウン生産の本格稼働を行い、引き続きスマートフォンやタブレット端末に向けた産業用機械、電子部品業界への顧客ニーズに対応し収益の確保を図ります。

次期の連結業績につきましては、売上高1,574,135千円（前期比20.7%増）、営業利益40,910千円、経常利益33,658千円、当期純利益19,944千円となる見通しです。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の、国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、受注確保を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、業績の早期回復及び経営基盤の強化に努めて参ります。

重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウン
- ② QCDの徹底追求による顧客対応力の強化
- ③ 海外販売展開の構築・強化
- ④ 顧客ニーズに適合した新製品の開発
- ⑤ 主力製品リニアプッシュの競争力強化による拡販

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題とし、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本としております。

しかしながら、当事業年度につきましては、赤字決算となったため、誠に遺憾ながら、無配といたしました。今後の利益還元につきましては、業績の回復に鋭意努めて参り、経営成績を勘案しながら、適宜検討していく予定であります。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	51期 平成25年3月31日	50期 (ご参考) 平成24年3月31日
資産の部		
流動資産	2,069,174	2,058,104
現金及び預金	759,566	749,628
受取手形及び売掛金	513,697	509,038
製品	146,855	148,811
仕掛品	301,611	330,769
原材料及び貯蔵品	306,869	286,104
その他	40,573	33,751
固定資産	2,096,859	2,111,131
有形固定資産	2,040,404	2,050,832
建物及び構築物	757,989	807,186
機械装置及び運搬具	118,493	147,980
工具、器具及び備品	21,549	23,678
土地	1,063,504	1,063,504
その他	78,868	8,481
無形固定資産	4,514	3,478
投資その他の資産	51,940	56,820
資産合計	4,166,033	4,169,235

科 目	51期 平成25年3月31日	50期 (ご参考) 平成24年3月31日
負債の部		
流動負債	460,827	660,380
支払手形及び買掛金	216,444	340,059
1年内返済予定の長期借入金	151,208	204,876
未払法人税等	6,215	19,000
その他	86,960	96,444
固定負債	715,664	479,903
長期借入金	539,658	374,296
退職給付引当金	51,478	49,849
役員退職慰労引当金	56,011	53,721
その他	68,516	2,036
負債合計	1,176,491	1,140,284
純資産の部		
株主資本	2,985,914	3,028,868
資本金	717,495	717,495
資本剰余金	664,455	664,455
利益剰余金	1,604,148	1,647,090
自己株式	△ 183	△ 172
その他の包括利益累計額	3,626	82
純資産合計	2,989,541	3,028,951
負債純資産合計	4,166,033	4,169,235

連結貸借対照表のポイント

資産の部

設備投資の総額はリースを含めて95,467千円となりました。

負債の部

長期借入金として301,000千円を調達しました。

(注) 当連結会計年度より連結財務諸表を作成しており、前期50期の数値については参考として単体数値を掲載しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	51期	50期(ご参考)
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	1,304,556	1,491,385
売上原価	954,112	1,026,350
売上総利益	350,443	465,034
販売費及び一般管理費	391,427	430,795
営業利益又は営業損失(△)	△ 40,983	34,239
営業外収益	3,092	9,650
営業外費用	7,136	5,345
経常利益又は経常損失(△)	△ 45,028	38,543
特別利益	-	200,590
特別損失	353	3,256
税金等調整前当期純損失(△)	△ 45,381	-
税引前当期純利益	-	235,877
法人税、住民税及び事業税	3,365	15,712
法人税等調整額	△ 10,602	89,130
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 38,144	131,034

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	51期	50期(ご参考)
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	△ 66,282	△ 28,435
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 119,348	73,102
財務活動によるキャッシュ・フロー③	190,701	156,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,141	-
現金及び現金同等物の増減額	6,212	201,577
現金及び現金同等物の期首残高	643,354	428,050
現金及び現金同等物の期末残高	649,566	629,628

連結損益計算書のポイント

たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額7,808千円、研究開発費32,255千円を計上しております。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 税金等調整前当期純損失により資金が減少しております。
- 有形固定資産の取得により資金が減少しております。
- 長期借入により資金が増加しております。

連結株主資本等変動計算書のポイント

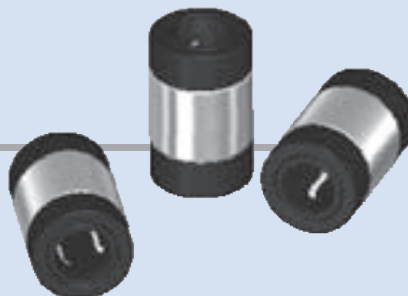
純資産の減少は、利益剰余金の減少によるものです。

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

科 目	51期	50期(ご参考)
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
株主資本		
資本金		
当期首残高	717,495	717,495
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	717,495	717,495
資本剰余金		
当期首残高	664,455	664,455
当期変動額	-	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	664,455	664,455
利益剰余金		
当期首残高	1,642,292	1,516,056
当期変動額	-	-
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 38,144	131,034
当期変動額合計	△ 38,144	131,034
当期末残高	1,604,148	1,647,090
自己株式		
当期首残高	△ 172	△ 64
当期変動額	-	-
自己株式の取得	△ 10	△ 107
当期変動額合計	△ 10	△ 107
当期末残高	△ 183	△ 172
株主資本合計		
当期首残高	3,024,069	2,897,941
当期変動額	-	-
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 38,144	131,034
自己株式の取得	△ 10	△ 107
当期変動額合計	△ 38,154	130,926
当期末残高	2,985,914	3,028,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	82	△ 416
当期変動額	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 4	499
当期変動額合計	△ 4	499
当期末残高	78	82
為替換算調整勘定		
当期首残高	△ 178	-
当期変動額	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,726	-
当期変動額合計	3,726	-
当期末残高	3,547	-
純資産合計		
当期首残高	3,023,974	2,897,525
当期変動額	-	-
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 38,144	131,034
自己株式の取得	△ 10	△ 107
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,721	499
当期変動額合計	△ 34,433	131,426
当期末残高	2,989,541	3,028,951

UTBシリーズ

Utility Track Ball
ユーティリティトラックボール

【特長】

- 従来の工作機やFA機器等の産業機械向けリニアブッシュに対し、民生向けにアレンジした円筒直動案内。
- 製品設計と製造工程を見直し、大幅なコストダウンを実現。
- ◆ 2013年3月より「UTB06 (シャフト径6ミリ)」を先行発売。「UTB05 (シャフト径5ミリ)」は2013年6月リリース予定。

表1 UTB構成部品と材質

部品名称	① 外筒	② 鋼球	③ 保持器	④ エンドキャップ
材質	ベアリング鋼	ベアリング鋼	ポリアセタール	ポリアセタール

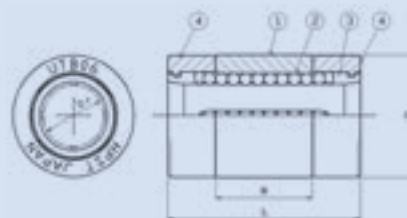


表2 UTB製品仕様

形式	全長 (mm) L	外径 (mm) D	外径有効範囲 B	内接円径 Dr	重量 (g)	基本動定格荷重 C (N)	基本静定格荷重 Co (N)
UTB05	15 ⁰ _{-0.12}	10 ⁰ _{-0.009}	7.9	5 ⁰ _{-0.008}	2.7	38	73
UTB06	19 ⁰ _{-0.2}	12 ⁰ _{-0.011}	9.5	6 ⁰ _{-0.009}	5.2	67	128
LM6 (参考値)	19 ⁰ _{-0.2}	12 ⁰ _{-0.011}	-	6 ⁰ _{-0.009}	7.4	74	147

! ご注意

従来のリニアブッシュのように外周の溝がありませんので、スナップリング等を利用した固定が出来ません。そのため、止め板等やネジ頭部分を利用し固定してください。ネジ頭部分を使用する際は、リニアブッシュに負荷をかけないようにしてください。



株式の状況

株式の状況 (2013年3月31日現在)

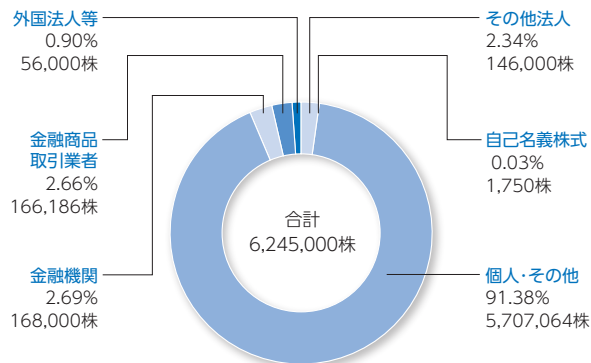
発行可能株式総数 …………… 18,720,000株

発行済株式の総数 …………… 6,245,000株

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,123	17.98
尾崎 文彦	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	744	11.92
大塚 勝洋	200	3.20
小泉 秀樹	159	2.54
大塚 徳子	100	1.60
日本生命保険相互会社	100	1.60
山崎 哲靖	80	1.28
武部 優	68	1.08
西村 平	61	0.97
楽天証券株式会社	60	0.96
ヒーハリスト精工社員持株会	57	0.91
夏 恒	50	0.80
THK株式会社	50	0.80
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	50	0.80

所有者別株式数 (2013年3月31日現在)



会社の概要

会社の概要 (2013年3月31日現在)

社 名 …… ヒーハリスト精工株式会社

本 社 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,589㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653
秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-2231

海外子会社 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司
〒200051
中華人民共和国上海市長寧区中山西路
555号 緑洲大廈1幢813室
蘇州分公司
〒215009
江苏省苏州市高新区火炬路12号内

設 立 …… 1962年(昭和37年)7月19日

資 本 金 …… 717,495,000円

グループ従業員 …… 72人 (平均臨時従業員 29人)

役員 (2013年6月26日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
取締役	福留 弘人
常勤監査役	村田 伊織
監査役	小川 好文
監査役	上條 弘
執行役員	菜花 有三
執行役員	佐々木 宏行

※監査役村田伊織、上條弘は社外監査役です。

第51期定時株主総会に関するご報告

平成25年6月26日開催の第51期定時株主総会における報告内容は、下記のとおりです。

記

報告事項

第51期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業報告、計算書類及び連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

以上

(注) 決議事項はございませんでした。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融証券取引所	大阪証券取引所(JASDAQスタンダード市場) ※ 東京証券取引所と大阪証券取引所の現物市場の統合に伴い、平成25年7月16日から東京証券取引所(JASDAQスタンダード市場)となる予定です。
公告の方法	電子公告の方法により行う。
公告掲載URL	http://www.hephaist.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。